

地域力応援基金助成事業（チャレンジ助成・チャレンジプラス助成）について

地域力応援基金助成事業（チャレンジ助成・チャレンジプラス助成）について、区長に対し大田区区民協働推進会議から推薦のあった以下の事業を令和5年度助成事業とする。

1 チャレンジ助成

◆申請事業数5事業 ◆助成事業3事業（総額 532万円）

	団体名 代表者	事業名 主な事業内容	交付額	評価のポイント
1	NPO 法人 打楽器コンサート グループ・あしあと 池野 ひとみ	打って！笑って！ カラフルコンサート 障がいのある子どもや生活に困難を抱えている保護者、高齢者等を対象にした、打楽器による参加体験型コンサートを実施し、親子の触れ合いや高齢者同士、異世代交流を目指す。	200万円	障がい児とその保護者、高齢者が参加する打楽器製作から関わる体験型コンサートは、地域での孤立化を防ぐ交流の場となり、「地域共生」につながる。また、人々の交流が深まることで、支え合う地域づくりが期待できる。
2	NPO 法人 一期 J AM 山崎 剛司	地域社会の新しい場所 「いちごハウスに集まろう！」 下丸子周辺の小学生（塾に行けない在日外国人等）や高齢者、障がい者を対象に、地域住民が気軽に集まり、ワークショップを通じて交流する居場所を提供する。	177万円	下丸子地区に限定し、地域特有の課題を認識し、解決に向けて取り組むことは、支援を必要とする人々により深く関われる意味で、効果が期待できる。また、この取り組みが他地域へ広がることも期待したい。
3	一般社団法人 ともしび at だんだん 近藤 博子	支援者同士のネットワークづくりとシングルファミリー応援フェスタの開催 こども食堂のスタッフや支援者同士の関係づくりのための交流会や研修、シングル家庭向けのイベント等を実施し、各団体が行っている寄り添い支援の活性化を目指す。	155万円	こども食堂を通じて支援者同士の顔の見える関係づくりを行い、悩みを抱える方たちに寄り添い、適切な相談機関につなげる、地域での支援のネットワークづくりに寄与する取り組みとして期待できる。

2 チャレンジプラス助成

テーマ：「青年・成人の知的障がい者の余暇活動支援事業」

区では、「おおた障がい施策推進プラン」の施策目標で「社会参加・社会生活の充実」に取り組むとして、個別施策に「余暇活動の充実」を掲げている。18歳～64歳までの地域で生活する青年・成人の知的障がい者が施設への通所や就労後、休日に趣味や芸術鑑賞、スポーツなどの多様な活動や行事に参加し、様々な人たちとの交流を支援する事業を募集する。

◆申請事業 なし